

2019年4月12日

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団

ラグビーワールドカップ 2019 開催記念。日本ラグビーのレジェンドを振り返る 笹川スポーツ財団 スペシャルサイト『スポーツ歴史の検証』

第84回 森喜朗氏

(熱い情熱で世界のラグビー界を動かし、ラグビーワールドカップ日本招致を実現した最大の功労者)

「スポーツ・フォー・エブリワン」を推進する笹川スポーツ財団(所在地:東京都港区赤坂 理事長:渡邊一利 以下:SSF)は、日本のスポーツの歴史を築かれてきた方々にお話を伺い、スポーツの価値や意義を検証、あるべきスポーツの未来について考えるスペシャルサイト「スポーツ歴史の検証」を連載しております。ラグビーW杯2019を記念し、日本のラグビーを支える人びとをテーマに、今回ご登場いただいたのは、ラグビーへの深い愛で世界のラグビー界に一石を投じた森喜朗氏です。ラグビーW杯招致の道のりや大会の残すレガシー、ラグビーとともに歩まれた人生について伺いました。

インタビューには産経新聞特別記者兼論説委員の佐野慎輔氏をお迎えし、意義深いお話を引き出していただきました。SSFウェブサイトでの公開詳細は以下のとおりです。ぜひともご覧ください。

『世界の重い扉を開いて日本ラグーマンの悲願実現へ』

森喜朗氏

【公開日時】2019年4月12日(金) 一斉公開

【URL】<http://www.ssf.or.jp/ssf/tabid/813/pdid/281/Default.aspx>

スポーツ歴史の検証 で検索ください!

【主な内容】元ラグーマンとしての意地と亡き後輩の存在/一国の総帥が投じた一石が世界を動かすきっかけに/「早慶戦」で魅了されラグーマンの道へ/人生で一番の幸せはラグビーで得られた出会いの数々 ほか



《プロフィール》

森喜朗(もり よしろう)氏

1937年、石川県生まれ。石川県立金沢二水高等学校ラグビー部で主将を務め、早稲田大学ラグビー部に入部。産経新聞社勤務、議員秘書を経て、1969年衆議院議員に初当選。文部大臣、通産大臣、自民党幹事長、政調会長等の要職を歴任し、2000年に第85代内閣総理大臣に就任。2005年、日本ラグビーフットボール協会会長に就任。現在は東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会会長、日本ラグビーフットボール協会名誉会長、日本財団パラリンピックサポートセンター最高顧問などを務める。

佐野慎輔(さの しんすけ)氏

1954年生まれ。産業経済新聞社特別記者兼論説委員、SSF理事。スポーツ記者を30年以上経験し、日本オリンピックアカデミー理事、野球殿堂競技者表彰委員を務める。

<スポーツ歴史の検証>概要

【企画制作】公益財団法人 笹川スポーツ財団

【後援】スポーツ庁、東京都、公益財団法人日本スポーツ協会、
 公益財団法人日本オリンピック委員会ほか

【特別協力】株式会社アシックス

この件に関するお問合せ先

笹川スポーツ財団 経営企画グループ:古坂(ふるさか)

TEL:03-6229-5300 info@ssf.or.jp